

平成30年度
名古屋大学大学院教育発達科学研究科
博士課程（後期課程）
社会人特別選抜
学生募集要項

人間の教育と発達の研究者・専門家をめざし、高度の知力と旺盛な熱意をもって教育発達科学の発展に寄与しようとする人を求めています。

名古屋大学大学院教育発達科学研究科

熊本地震により被災した入学志願者に係る検定料の特別措置について

熊本地震により、被害に遭われた方々には、心よりお見舞い申し上げます。
名古屋大学では、平成28年4月に発生した熊本地震による被害者の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、本入試の検定料免除の特別措置を実施いたします。

なお、詳細は本学ホームページをご確認ください。

○本学ホームページ

URL <http://www.nagoya-u.ac.jp/>

※不測の事態が発生した場合の諸連絡

災害や感染症の流行等により、試験日程や選抜内容等に変更が生じた場合は、以下のホームページ等により周知しますので、出願前や受験前は特に注意してください。

入試情報ホームページ

(名古屋大学大学院教育発達科学研究科・教育学部)

URL <http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/info/admission/>

◇連絡窓口

文系教務課(教育学部グループ)

TEL 052-789-2606

平成30年度 名古屋大学大学院教育発達科学研究科 博士課程（後期課程） 社会人特別選抜学生募集要項

平成30年度本学大学院教育発達科学研究科博士課程（後期課程）に入学又は進学する社会人特別選抜試験による学生を次により募集する。

本研究科は、以下の専攻（講座）からなる。

教育科学専攻（生涯発達教育学講座、学校情報環境学講座、相関教育科学講座、高等教育学講座、生涯スポーツ科学講座）

心理発達科学専攻（心理社会行動科学講座、精神発達臨床科学講座、スポーツ行動科学講座）

社会人特別選抜は、修士学位取得者で社会において十分な研究実績を積んでいる者、および修士学位を取得していないが前者と同等以上の研究業績を積んでいる者を対象とする。入学者は博士学位取得をめざし、在職のままだでも本研究科博士課程（後期課程）において研究に従事することができる。

修了者には、博士（教育学）の学位（Doctor of Philosophy (Education)）又は博士（心理学）の学位（Doctor of Philosophy (Psychology)）を授与する。

1. 出願資格

本研究科の博士課程（後期課程）への入学を出願できる者は、次の各号のひとつに該当するものとする。

- (1) わが国の大学院において修士の学位若しくは専門職学位を授与された者、又は平成30年3月末日までに授与される見込みの者
- (2) 外国において修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者、又は平成30年3月末日までに授与される見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者、又は平成30年3月末日までに授与される見込みの者
- (4) わが国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位若しくは専門職学位に相当する学位を授与された者、又は平成30年3月末日までに授与される見込みの者
- (5) 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（学校教育法施行規則第156条第4号）、又は平成30年3月末日までに授与される見込みの者
- (6) 文部科学大臣の指定した者（平成元年文部省告示第118号）、又は平成30年3月末日までに文部科学大臣の指定した者となる見込みの者
- (7) 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位若しくは専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者で、平成30年3月末日までに24歳に達した者

注1）出願資格(6)により出願する者は、5頁を参照し平成29年12月5日(火)までに教育発達科学研究科入試担当あてに必着で必要書類を提出すること。なお、中国の大学卒業者は、5頁の注)を参照のこと。

注2）出願資格(7)により出願する者は、6頁を参照し平成29年12月5日(火)までに教育発達科学研究科入試担当あてに必着で必要書類を提出すること。なお、中国の大学卒業者は、6頁の注)を参照のこと。

出願条件

- (1) 教育科学専攻
本課程入学または進学までに3年以上の職業経験または社会的活動の経験を有すること。
- (2) 心理発達科学専攻
以下の条件のすべてを満たす者。
 - ① 入学時に前期課程(修士課程)修了後1年以上または大学卒業後3年以上の社会的活動の経験をもつ者。
 - ② 旧日本学術会議登録の学協会の学術雑誌若しくはそれと同等以上の評価を学界で得ている学術雑誌に、単著論文で1編、若しくは共著論文の場合第1著者であるものが1編以上掲載され、または掲載予定であること。なお、この論文がこの条件を満たすかどうかについては、事前に志望する研究領域の教員に確認することが望ましい。

2. 専攻及び募集人員

専攻	募集人員
教育科学専攻	若干名
心理発達科学専攻	若干名

※心理発達科学専攻の可否判定は、心理社会行動科学、精神発達臨床科学、スポーツ行動科学の各講座ごとに行われます。

3. 出願書類および入学検定料

本研究科のウェブサイト（入試情報の項目）より、様式 2, 3, 4 はダウンロード可能となっている。

- (1) 入学志願票・写真票・受験票 [様式 1]
- (2) 修士学位取得（見込）証明書
修士学位取得（見込）大学等発行の証明書を提出すること。
なお、出願資格(2), (3)または(6)により出願する中国の大学院修了者または大学卒業者は、中国政府機関直轄の財団である『中国教育部・学位与研究生教育发展中心（CDGDC）』から名古屋大学大学院教育発達科学研究科（登録コード：C900802）へ認証書が直接送付されるように必ず手続きすること。認証書は、出願資格(2)または(3)により出願する者については平成30年1月11日(木)までに、出願資格(6)により出願する者については平成29年12月5日(火)までに、本研究科に到着したもののみを受理する。いずれの出願資格の場合も、認証書は必ず「英文」で発行してもらうこと（英文以外は受理しない）。また出願者本人が受け取り、自身で大学に提出した認証書は原則として無効とする。手続きの詳細についてはCDGDCのホームページ（<http://www.cdgdc.edu.cn>）で確認すること。以上の手続きにより、出願者本人からの修士学位取得（見込）証明書の提出を要しない。
- (3) 修士論文等
 - ① 教育科学専攻を志望する者は、修士論文（修士論文として提出見込みのものを含む）の写しを4部提出すること。出身研究科において修士論文の提出が修了の要件とされていない場合は、修士論文にかわる研究論文を上記の部数提出すること。修士論文またはそれにかわる研究論文が日本語または英語以外の言語で記述されている場合は、その写しに加え、日本語による全訳または12,000字程度の抄訳を、同部数提出すること。また、上記の論文のほか、主要研究業績を1編または2編、各4部提出することができる。
 - ② 心理発達科学専攻を志望する者は主要研究業績を1編以上3編以内、各3部提出すること。
- (4) 職務および社会的活動説明書 [様式 2]
 - ① 教育科学専攻を志望する者は4部提出すること。
 - ② 心理発達科学専攻を志望する者は9部提出すること。（心理発達科学専攻は英文での提出も可能。）
- (5) 将来希望する研究に関する研究計画書 [様式 3 または 様式 4]
 - ① 教育科学専攻を志望する者は、本冊子綴じ込みの用紙に6,000字から8,000字までの範囲で作成し、4部提出すること。
 - ② 心理発達科学専攻を志望する者は、本冊子綴じ込みの用紙に4,000字程度で作成し、9部提出すること。（心理発達科学専攻は英文での提出も可能。ただし、約1,600単語で記述すること。）
- (6) 返信用封筒 1通
受験票送付用：市販の長形3号（23.5cm×12cm）の封筒に、返信用住所・氏名を記入し、372円切手を貼付すること。
- (7) 連絡用シール
可否通知用、入学手続き用。本人の住所・氏名を記入すること。
- (8) 領収証書・領収証書（控） [様式13]
氏名欄（2箇所）に出願者の氏名を記入すること。
- (9) 入学検定料30,000円（必ず郵便局で30,000円の普通為替を作成し、受取人指定欄等一切記入しないこと。）
* 国費留学生の場合「国費外国人留学生証明書」をもって入学検定料に代える。
- (10) 国籍、在留資格及び在留期間を確認できるもの ※日本国籍を有しない者のみ
 - ・（日本国内に在住する者）住民票の写しまたは在留カード（両面）のコピーを提出すること。
住民票の写しの場合、「在留資格」、「在留期間」、「在留期間満了日」が記載された「個人番号（マイナンバー）」の記載のない住民票の写し（発行日から3ヶ月以内のもの）」を市区町村役場で取得し提出すること（発行時に申し出が必要）。
 - ・（日本国外に在住する者）パスポート（顔写真のある頁）のコピーを提出すること。※出願書類等には、これらの証明書等に記載された氏名を用いること。

備考

- ・出願資格(6)または(7)により出願する者及び本研究科博士課程（前期課程）の修了見込の者は、出願書類(2)の提出を要しない。また、上記に該当する者のうち教育科学専攻を志望する者は、出願書類(3)①の修士論文の提出を要しない。
- ・本学の大学院博士課程（前期課程）修了見込みで、引き続き本研究科博士課程（後期課程）への進学を志望する者は(8)及び(9)の提出を要しない。

4. 願書受付期間

平成30年1月4日(木)～平成30年1月11日(木)

受付時間 9時～12時及び13時～16時 ※土日祝日を除く

郵送する場合は、封筒の表に「大学院教育発達科学研究科後期課程〇〇専攻入学願書在中」と朱書し、必ず書留郵便とし、期間内（平成30年1月11日(木)16時まで）に必着のこと。期間後到着分は受理しないので注意すること。

出願書類送付先 〒464-8601 名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院教育発達科学研究科 入試担当

出願上の注意事項

- ① 本研究科が受理した出願書類を、受理後に訂正することは認めない。
- ② 理由のいかんにかかわらず、出願書類及び入学検定料は返還しない。
なお、受験票の発送は、平成30年1月23日(火)頃を予定している。

5. 選抜方法

- (1) 入学者の選抜は、出願書類審査及び学力試験により行う。
- (2) 学力試験は、筆記試験（教育科学専攻のみ）及び口述試験により行う。とくに指示がある場合を除き、日本語により解答するものとする。
- (3) 学力試験の科目及び実施方法

1) 教育科学専攻の学力試験

(イ) 期日・時間割

期 日	時 間	学力試験の科目
平成30年2月13日(火)	9:00～10:30	外 国 語
	11:00～	口 述 試 験
平成30年2月14日(水)	9:00～	

(ロ) 学力試験の科目

- ① 外国語試験（筆記） 英語、ドイツ語、フランス語、ロシア語、中国語、スペイン語、日本語のうちから、自国語以外の1カ国語を選択すること。冊子体の辞書1冊の持ち込みを認める。「英和・和英辞典」等、2冊分の機能をもつものは認めない。なお大学院での研究を進めるにあたり、外国語試験で選択した以外の外国語の能力が必要と判断される場合には、口述試験においてその能力の有無を確認する場合がある。
- ② 口述試験 出願書類(3)、(4)及び(5)の記載事項を含む研究事項及び関連学力について試験する。なお、口述試験の実施に関する詳細は、当日掲示により周知する。

(ハ) 受験上の注意事項

- ① 口述試験では出願書類(3)、(4)及び(5)の内容について質問することがあるので、それらの写しを持参すること。また、口述試験に際して、それらを参照することができる。
- ② 筆記試験を受験しなかった者は、口述試験を受験できない。また、口述試験に15分以上の遅刻者は、口述試験を受験できない。
- ③ 試験開始後は、各科目の終了時刻まで退室することはできない。
- ④ 携帯電話は、試験室に入る前にアラーム設定を解除し電源を切ってかばん等に入れておくこと。
- ⑤ 試験場には時計がないので、必要な者は時計を持ち込んでよい。ただし、時計は計時機能のものに限る。

2) 心理発達科学専攻の学力試験

(イ) 期日・時間割

期 日	時 間	学力試験の科目
平成30年2月14日(水)	9:00～	口 述 試 験

(ロ) 学力試験の科目

- ① 口述試験 出願書類(3)、(4)及び(5)の記載事項を含む研究事項及び関連学力について試験する。なお、口述試験の時程表を、受験票と同時に送付する。

(ハ) 受験上の注意事項

- ① 口述試験では出願書類(3)及び(4)及び(5)の内容について質問することがあるので、それらの写しを持参すること。また、口述試験に際して、それらを参照することができる。
- ② 口述試験に15分以上の遅刻者は、口述試験を受験できない。
- ③ 携帯電話は、試験室に入る前にアラーム設定を解除し電源を切ってかばん等に入れておくこと。

(4) 試験実施場所

試験は名古屋大学大学院教育発達科学研究科（名古屋市千種区不老町）において実施する。詳細は、試験当日、本研究科玄関に掲示する。

6. 合格者発表

平成30年2月16日(金)17:00頃、本研究科玄関に掲示するとともに、後日郵送により受験者に通知する。（なお、受験者の便宜を考慮し、玄関掲示以降、次のページにも掲示する予定であるが、あくまで、本研究科玄関の掲示と郵送による通知を正式な合格者発表とする。（<http://educa.nagoya-u.ac.jp/info/admission/>）

7. 入学手続

入学手続については、合格決定後本人に通知する。

8. 学生納入金

入学料 282,000円（予定額）
授業料（年額） 535,800円（予定額）

〈注〉

- ① 入学時及び在学中に学生納入金の改定が行われた場合には、改定時から新たな納入金額が適用される。
- ② 入学手続時に入学料（282,000円）を納入しなければならない。なお、本学大学院博士課程（前期課程）修了後、引き続き本研究科博士課程（後期課程）に進学する者は、入学料の納入を要しない。
- ③ 授業料の納入については、別途通知する。

9. その他

- (1) （障害のある者等の出願）障害などがあって試験場での特別な配慮を必要とする者にとっては、平成29年12月5日(火)までに、以下三点を文系教務課（教育担当）まで提出すること。
 - ① 受験上の配慮申請書（障害の状況、受験上配慮を希望する事項とその理由等を記載したもの（様式随意、A4サイズ）
 - ② 障害等の状況が記載された医師の診断書、障害者手帳等（写しでもよい）
 - ③ 障害等の状況を知っている第三者の添え書（専門家や出身学校関係者などの所見や意見書）なお、必要に応じて、適宜それ以外の書類を添付しても構わない。
また、受験や入学後の修学に関して相談の希望がある者は、出願期限までに問い合わせること。
- (2) （個人情報の取り扱い）出願にあたって提供された氏名等個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続き業務に使用する。取得した個人情報は適切に管理し、利用目的以外には使用しない。
- (3) （出願書類等の入手方法）出願書類等は名古屋大学大学院教育発達科学研究科入試担当で入手することができる。出願書類等の郵送を請求する場合は、志望する専攻（「博士課程（後期課程）教育科学専攻（社会人特別選抜）」）または「博士課程（後期課程）心理発達科学専攻（社会人特別選抜）」を明記した書状と、出願書類等を郵送先の住所・氏名を記し、かつ380円分の切手を貼付した角形2号封筒を同封すること。

平成29年10月

名古屋大学大学院教育発達科学研究科

〒464-8601 名古屋市千種区不老町
TEL 052-789-2606・2607

出願資格(6)による出願について

1) 出願資格(6)により出願する者は、次の1及び2の要件を満たす者であること。

- 1 出願時において、大学を卒業し、又は外国において学校教育における16年の課程を修了した後、大学・研究所等において、2年以上研究に従事した者。
- 2 学術論文、著書、研究発表等により、修士学位論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者。

2) 事前審査

あらかじめ次の書類を平成29年12月5日(火)(必着)までに本研究科へ郵送(書留便で封筒の表に「出願資格(6)事前審査申請」と朱書)し、出願資格の有無について、事前審査を受けること。

- ① 出願資格(6)による出願資格事前審査願 [様式5]
- ② 大学卒業証明書及び学位記または学士学位を取得したことを証明するもの(原文と日本語訳または英語訳)(中国の大学卒業者は注)参照)
- ③ 研究歴証明書 [様式6]
- ④ 研究実績証書 [様式7]
- ⑤ 研究成果報告書 [様式8]
- ⑥ 学術論文、著書、研究発表等の写し
- ⑦ 返信用封筒

市販の長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、返信先住所・氏名を記入し、82円分の切手を貼付すること。

注) 中国の大学卒業者は、中国政府機関直轄の財団である『中国教育部・学位与研究生教育发展中心(CDGDC)』から名古屋大学大学院教育発達科学研究科(登録コード:C900802)へ認証書が直接送付されるように必ず手続きすること。認証書は、平成29年12月5日(火)までに本研究科に到着したもののみを受理する。認証書は必ず「英文」で発行してもらうこと(英文以外は受理しない)。また出願者本人が受け取り、自身で大学に提出した認証書は原則として無効とする。手続きの詳細についてはCDGDCのホームページ(<http://www.edgdc.edu.cn>)で確認すること。以上の手続きにより、出願者本人からの学位証明書の提出を要しない。

本研究科で事前審査を実施し、その結果は平成29年12月18日(月)までに本人宛発送する。

3) 事前審査の結果、出願資格有と判定された者の出願手続等

学生募集要項の出願手続関係を熟読し、手続きを行うこと。

なお、事前審査の結果の通知から出願までの期間が短いので、出願書類等は事前に準備しておくこと。

出願資格(7)による出願について

1. 個別審査

出願資格(7)により出願する者については、あらかじめ次の書類を平成29年12月5日(火)までに、本研究科へ提出又は郵送(書留便で封筒の表に「出願資格(7)個別審査申請」と朱書)、出願資格の有無について個別審査を受けること。

- ① 個別審査願 [様式9]
- ② 履歴書 [様式10]
- ③ 研究実績調書 [様式11]
- ④ 研究内容説明書 [様式12]
- ⑤ 高等学校以上の学校を卒業した者は、そのすべての学校について成績証明書(原本)(中国の大学卒業者は注)参照)
- ⑥ 返信用封筒

市販の長形3号(23.5cm×12cm)の封筒に、返信先住所・氏名を記入し、82円分の切手を貼付すること。

注) 中国の大学卒業者は、中国政府機関直轄の財団である『中国教育部・学位与研究生教育发展中心(CDGDC)』から名古屋大学大学院教育発達科学研究科(登録コード:C900802)へ認証書が直接送付されるように必ず手続きすること。認証書は、平成29年12月5日(火)までに本研究科に到着したもののみを受理する。認証書は必ず「英文」で発行してもらうこと(英文以外は受理しない)。また出願者本人が受け取り、自身で大学に提出した認証書は原則として無効とする。手続きの詳細についてはCDGDCのホームページ(<http://www.cdgdc.edu.cn>)で確認すること。以上の手続きにより、出願者本人からの大学についての成績証明書の提出を要しない。

本研究科で個別審査を実施し、その結果は平成29年12月18日(月)までに本人宛発送する。

2. 個別審査の結果、出願資格有と判定された者の出願手続等

学生募集要項の出願手続関係を熟読し、手続を行うこと。

なお、個別審査の結果の通知から出願までの期間が短いので、出願書類等は事前に準備しておくこと。

講座・研究領域・教員一覧

講座・研究領域一覧

下表のうちから教育科学専攻を志望する者は志望する研究領域を、心理発達科学専攻を志望する者は志望する講座をひとつだけ選択し、様式1の志願票・受験票・写真票の志望講座・研究領域欄に記入すること。

専攻	講座	研究領域
教育科学専攻	生涯発達教育学	教育史, 教育行政学, 社会・生涯教育学, 技術教育学, 職業・キャリア教育学
	学校情報環境学	学校情報学, カリキュラム学, 教育方法学, 教育経営学, 教師教育学
	関連教育科学	人間形成学, 教育人類学, 教育社会学, 比較教育学, 大学論
	高等教育学	高等教育学
	生涯スポーツ科学	生涯体力科学, 健康運動科学, スポーツ教育学*, スポーツマネジメント, スポーツバイオメカニクス, スポーツ生理学
専攻	講座	
心理発達科学専攻	心理社会行動科学 精神発達臨床科学 スポーツ行動科学	

※ 教員が欠員であり、当面補充予定がないため、募集しない。

心理発達科学専攻 教員一覧

心理発達科学専攻を志望する者は、下表から研究指導を希望する教員を1名選択し、様式1の志願票の志望指導教員欄に記入すること。

専攻	講座	研究領域	職名	氏名
心理発達科学	心理社会行動科学	計量心理学	教授	石井 秀宗
		認知行動学	准教授	光永 悠彦
		教授・学習心理学	准教授	清河 幸子
		パーソナリティ心理学	教授	中谷 素之
		社会心理学	教授 准教授	(※1) 高井 次郎 五十嵐 祐
	精神発達臨床科学	生涯発達心理学	教授	平石 賢二
		臨床心理学	教授	金井 篤子
		家族心理学	教授	河野 荘子
		学校心理学	准教授	(※2) 金子 一史
			教授	(※2) 永田 雅子
	教授	(※2) 松本 真理子		
	教授	(※2) 鈴木 健一		
	准教授	(※2) 杉岡 正典		
スポーツ行動科学	スポーツ心理学 運動学習科学	教授	(※3) 竹之内 隆志	
		教授	(※3) 山本 裕二	

※1 国際開発研究科協力教員

※2 心の発達支援研究実践センター所属教員

※3 総合保健体育科学センター所属教員